

# 舌下免疫療法について



舌下免疫療法は、アレルギーの原因物質であるアレルゲンを舌の下側(下の前歯の後ろあたり)に投与することで体をアレルゲンに慣らして体質を少しずつ変えていく治療法です。現在、スギ花粉とダニアレルギーに対して治療が可能です。治療された方全員が治るわけではありませんが、約8割の方に症状軽減以上の効果があったと報告されています。内服や点鼻薬による治療を行ってもなお苦しい思いをされてきた患者さんにとって、あるいは眠気をはじめとする抗アレルギー薬の副作用でつらい思いをされてきた患者さんにとって、とても画期的な治療といえます。

舌下免疫療法ではまれに治療に伴う副反応(口腔内の浮腫、アナフィラキシーなど)が生じることがあります。そのため、舌下免疫療法はこうした事態に対応できる態勢がとれた医療機関で実施することで、安心して治療に取り組むことができます。当院では初回投与時と、初回投与から1週間後のお薬増量時の2回を院内で投与しています。特に安全性に配慮した形で舌下免疫療法を提供しておりますので、さらに安心して治療を受けていただくことができます。

舌下免疫療法はどのようなものかについて、以下にご説明いたします。



## 舌下免疫療法の効果

治療期間は3～5年と長いですが、

スギ花粉やダニアレルギーの症状を軽くする、

あるいは根治する効果が期待できます。

内服、点鼻などの治療であまり効果がない方、薬を減らしたい方にお勧めの治療法です。



- くしゃみ、鼻水、鼻づまりがなくなる。もしくは軽減される。
- 目のかゆみ、涙目がなくなる。もしくは軽減される。
- アレルギー治療薬をつかわなくてすむ。もしくは減量できる。
- スギ花粉の季節に花粉を(あまり)気にせず生活できる。

## 舌下免疫療法を行ううえでの注意点

- すべての人に効果があるわけではありません。
- 治療は3~5年間という長期間にわたって続ける必要があります。
- 毎日薬を舌の下に1分間保持、その後のみこむ(または吐き出す)必要があります。
- 口の中の腫れや不快感、のどのかゆみなどの副作用がでることがあります。
- きわめてまれですが、アナフィラキシーを起こすことがあります。

## 舌下免疫療法をお勧めする方

次のような方に舌下免疫療法をお勧めします。

- スギ花粉症またはダニアレルギーの症状を軽減したい方
- スギ花粉症やアレルギーのお薬を減らしたい方

- 毎年同じ時期にお薬を飲み続けることに抵抗がある方
- スギ花粉症またはダニアレルギーのお薬の副作用がひどい方

## 舌下免疫療法を行うことができない方、注意が必要な方

次のような方は舌下免疫療法を行えないか、または行う場合に注意が必要です。

- 妊娠されている方、近いうちに妊娠希望の方
- 重症の喘息を合併している方
- 心臓の病気がある方
- 癌の治療をしている方
- 免疫不全などの病気の方、治療で免疫抑制剤を使用している方

注1 舌下免疫療法は一般的に5歳以上の方を適応としていますが、当院では12歳以上を適応としております。ご了承ください。

注2

## 治療の手順

### 【1.治療説明・検査 - 受診1回目】

舌下免疫療法を受けることが出来るか確認するために、これまでにかかったことがある病気の既往や鼻の症状のききとり、鼻の中の詳細な診察、血液によるアレルギー検査を行います。

また、舌下免疫療法について方法、有効性、治療期間などをご説明させていただき、治療を希望される患者さんは約2週間後に再度受診していただく日時を決めます。



注 2: 上記の「舌下免疫療法を行うことができない方、注意が必要な方」に該当する場合、舌下免疫療法ができない場合があります。

## 【2.初回投与 - 受診 2 回目】

「舌下免疫療法を行うことができない方、注意が必要な方」に該当せず、血液検査でスギ、またはダニアレルギーが陽性、副作用の可能性にご納得いただいた場合は治療適応となります。

舌下免疫療法が適応と判断された場合、院内でお薬を舌下に投与します。最低 30 分経過観察して治療による副作用がないことを確認します。問題なければ帰宅していただき、次回の受診日まで毎日ご自宅で舌下免疫療法をつづけていただきます。



## 【3.初回投与から 1 週間後 - 受診 3 回目】

ご家庭で舌下免疫をおこなっていただいた結果、特に問題がなければお薬の量を増やします。

増量時もアレルギー反応がでる可能性が比較的高いとされていますので、安全性に配慮して院内で行います。最低 30 分経過観察して治療による副反応がないことを確

認めます。問題なければ帰宅していただき、次回の受診日まで毎日ご自宅で舌下免疫療法をつづけていただきます。

注3： 初回投与、お薬の増量時はアレルギー反応が出る頻度が比較的高いとされており、極めてまれですが救急で対応が必要なケースもあります。そのため、副反応が出た場合にしっかりとした救急対応態勢がとれる月曜日、火曜日、木曜日の午前中に投与を行っています。ご了承ください。



## 【4.定期処方】

経過観察とお薬の処方のため、月に1回通院していただきます。

定期通院時に副作用がないかどうか確認します。また、血液検査によってIgE というアレルギーの数値を追うことで治療効果のモニタリングを行います。

## 治療を希望される方へ

まずは詳しい問診や血液検査をおこない、それらの結果にもとづいて舌下免疫療法の治療可否を検討させていただきます。

舌下免疫療法をご検討されている方、治療に関する説明を希望される方は当院耳鼻咽喉科を受診ください。